

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

課所名・担当	介護保険課 計画・事業指導担当
担当者名	

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成してください

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容					令和2年度(年度末実績)				公表の状況	
	項目名	目標を設定するに至った 現状と課題	第7期計画における取組	目標 (事業内容、指標等)	中間見直し	取組の実施内容、実績	自己評価	評価の理由	課題と対応策	実施状況	公表の方法
春日部市	①自立支援・介護予防・重度化防止	○ 高齢者人口は年々増加しており、今後さらに高齢化が進行し、特に後期高齢者が急増することが予測されている。これに伴い、要介護(要支援)認定者数も増加傾向で推移していくものと見込まれている。 ○ 高齢者が支えられる側だけでなく、支える側として社会参加や地域貢献を行うことにより、介護予防に繋がるよう支援していく必要がある。	・介護支援ボランティア事業の実施	登録者数:第7期計画値 ・H30年度 … 660人 ・R元年度 … 710人 ・R2年度 … 760人	なし	・介護支援ボランティア事業の周知(広報掲載、チラシ配布) ・介護支援ボランティアの登録 576人 ・介護支援ボランティア受入施設の登録	○	ボランティア登録者数が減り、目標の76%であったため、評価を「○」とした。 ・新型コロナウイルスの感染拡大によりボランティア活動の場が減り、昨年度(704人)に比べ登録者数が減少した。 ・新型コロナウイルスの収束状況を見ながら、今までの周知方法(広報掲載、窓口でのチラシ配布)だけでなく、他の事業参加者などにもより広く周知をして登録者数を増やしていく。	実施	HPでの公表を予定している	
春日部市	①自立支援・介護予防・重度化防止	○ 高齢者人口は年々増加しており、今後さらに高齢化が進行し、特に後期高齢者が急増することが予測されている。これに伴い、要介護(要支援)認定者数も増加傾向で推移していくものと見込まれている。 ○ 高齢者が歩いて通うことができる場所で、継続的かつ効果的な介護予防に主体的に取り組むことができるような地域づくりを推進していく必要がある。	・住民主体型介護予防事業(春日部えんJOYTレーニンング他)の実施	春日部えんJOYTレーニンング実施団体数:第7期計画値 ・H30年度 … 20団体 ・R元年度 … 25団体 ・R2年度 … 30団体	なし	・春日部えんJOYTレーニンング(百歳体操)の周知(広報掲載、チラシ配布) ・希望団体への立ち上げ支援、開始及び継続支援(見守り等) ・春日部えんJOYTレーニンングサポーターの育成(養成講座等) (えんJOYTレーニンング実施団体数 25団体)	◎	えんJOYTレーニンング実施団体数が1団体増え、25団体になり、地域の介護予防につながったと判断したため、「◎」とした。 ・新型コロナウイルスの感染拡大のため、春日部えんJOYTレーニンングサポーターの養成講座が中止になるなど実施団体の立ち上げ支援がなかなかできず、目標の30団体には達しなかったが、1団体が新たに立ち上がり、地域住民による介護予防につながった。 ・今後も、感染対策を講じながら新規団体の発掘に向け、周辺の地域住民が通いやすい場所での住民説明会を行い、立ち上げに向けての現地支援を行っていく必要がある。 ・各団体での新規参加者が増加するよう、参加しやすい雰囲気づくりのため、見守り時の助言、フォローアップ講座で実施団体同士の情報交換等を行っていく。	実施	HPでの公表を予定している	
春日部市	②給付適正化	少子高齢化が進む中、当市の高齢化率は平成31年4月1日現在30.2%と近隣市町よりも高い状況である。今後、担い手不足が懸念されるため、介護給付費の適正利用について、自立支援の周知を含めた取り組みが必要となる。	自立支援に係るケアプラン点検を実施していく。	・H30年度 … 現状把握、課題抽出 ・R元年度 … 点検実施マニュアルを作成し、課内で共有する ・R2年度 … ケアプラン点検実施	なし	ケアプラン点検 6事業所14件のケアプラン点検を実施し、自立支援の考え方を共有することができた。	○	件数は少ないがケアマネと面談しながら実施できたため評価を「○」とした。 市職員が点検・指導を行うことでケアマネの理解も得やすいが、市職員だけでは点検件数を増やすことが困難なため、委託も視野に入れる必要がある。	実施	HPでの公表を予定している	